

環境調査結果のお知らせ

令和7年6月16日11時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で61,800 cells/mL確認されました。また、魚類に対して無害とされるプロロセントラム・トリエスティナムが最高で320 cells/mL確認されました。ヘテロシグマ・アカシオは漁業被害が想定される密度（50,000 cells/mL）を超えています。当該プランクトンは局所的に濃密な赤潮を形成しており、この赤潮水塊が波浪・潮流等で移動する可能性があるため、近隣漁場の状況にも十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ	プロロセントラム・ トリエスティナム	珪藻
1 防波堤内側 (-) 【12:21】	0	25.3	13.9	10.0	0	-	-
	2	23.9	30.6	9.0	250	-	-
	5	23.4	32.3	7.9	-	-	-
	10	22.8	33.1	7.4	-	-	-
	底層 13.5	22.1	33.9	6.4	-	-	-
A ガラク (6m) 【12:08】	0	24.9	30.1	8.1	0	5	880
	2	24.4	30.6	8.1	0	60	1,200
	5	23.9	31.3	8.1	0	0	900
	10	23.2	32.7	7.6	0	0	700
	底層 14.5	22.4	33.8	7.1	-	-	-
2 須崎木材工業団地 前 (1.7m) 【12:28】	0	25.7	14.7	9.5	40	-	-
	2	23.9	29.6	10.5	-	-	-
	5	23.2	32.0	8.2	0	-	-
	10	22.5	33.3	7.0	-	-	-
	底層 13	22.0	33.7	5.7	-	-	-
B 勢井 (4.1m) 【12:43】	0	25.7	25.0	8.4	0	320	2,000
	2	25.2	25.4	9.2	0	160	1,250
	5	23.9	26.0	7.9	280	40	800
	10	23.1	26.5	7.2	40	0	350
	底層 17.5	22.6	33.6	6.2	-	-	-
C 馬の背 (5.2m) 【12:50】	0	24.9	27.6	8.3	0	120	2,100
	2	24.2	30.8	8.2	0	70	800
	5	23.9	31.9	8.0	0	0	400
	10	23.1	32.8	7.5	5	14	175
	底層 23	21.9	34.1	5.9	-	-	-
D 大室戸 (5.6m) 【11:51】	0	25.3	30.3	8.0	0	80	1,100
	2	24.0	31.4	7.9	0	0	950
	5	23.8	31.9	7.7	0	0	600
	10	23.1	32.9	7.6	0	0	750
	底層 20.5	22.3	33.8	6.4	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	プロロセントラム・ トリエスティナム	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)			
E 白浜 (4.4m) 【12:01】	0	26.0	31.4	7.9	0	-	-
	2	24.5	31.3	7.9	-	-	-
	5	24.0	31.9	7.8	0	-	-
	10	23.4	32.6	7.6	-	-	-
	底層 16	22.4	33.8	6.7	-	-	-
F 野見漁協前 (0.5m) 【13:10】	0	27.7	30.2	14.0	61,800	-	-
	2	25.1	31.4	10.2	-	-	-
	5	24.0	31.8	8.4	350	-	-
	10	23.6	32.3	7.6	-	-	-
	底層 10.5	23.6	32.3	7.7	-	-	-
G 湾奥ブイ (4m) 【11:20】	0	26.1	31.6	8.6	650	20	1,000
	2	25.2	31.4	8.6	550	0	700
	5	23.8	32.0	8.1	140	20	1,100
	10	23.3	32.8	7.2	80	80	450
	底層 16	22.4	33.7	4.9	-	-	-
H 大谷漁港内 (1.9m) 【13:06】	0	27.8	24.2	13.6	51,200	-	-
	2	25.4	31.2	10.3	-	-	-
	5	24.2	31.7	9.0	-	-	-
	底層 6	23.8	32.1	8.2	-	-	-
3 タンボ (3.9m) 【11:45】	0	25.3	31.8	7.9	100	-	-
	2	24.6	31.6	8.1	-	-	-
	5	24.1	32.0	8.0	0	-	-
	10	23.8	32.6	7.6	-	-	-
	底層 13	22.7	33.6	5.7	-	-	-



- 1: 防波堤内側
A: ガラク
2: 須崎木材工業団地前
B: 勢井
- C: 馬の背
D: 大室戸
E: 白浜
F: 野見漁協前
- G: 湾奥ブイ
H: 大谷漁港内
3: タンボ

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレンシア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—			
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL			
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。